

第37回 外壁の仕上げを一部分変更する

※ このテクニカル講座は、Ver 4.01c を基に作成しております。

外壁の仕上げの一部分変更については、第12回テクニカル講座で解説しましたが、Ver4.01c から、【外観立面図】・【パース】プログラムの[外壁に部分仕様を指定]コマンドが新しくなりました。

〈変更点〉

1. コマンドがボタンに変更されました。
⇒コマンド操作が簡単になります。
2. 壁面が各階を統合して表示されるようになりました。
⇒貼り分けの設定が簡単になります。
3. 設定されている仕様内容を確認できる、内容確認コマンドが追加されました。
⇒仕様内容を簡単に参照でき、仕様内容を変更することもできます。
4. 水平・垂直補助線ライン入力コマンドが追加されました。
⇒桁に対して水平・垂直な補助線を簡単に入力することができます。
5. ドラフター機能が追加されました。
⇒水平・垂直などの45°角ライン(補助線)を簡単に入力することができます。

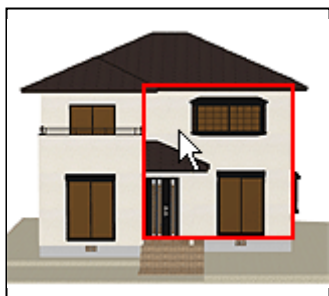
上記の変更点を含め、[外壁に部分仕様を指定]コマンドの基本操作から解説していきます。

Step 1 [外壁に部分仕様を指定]の基本操作

[外壁に部分仕様を指定]コマンドの基本操作について解説します。

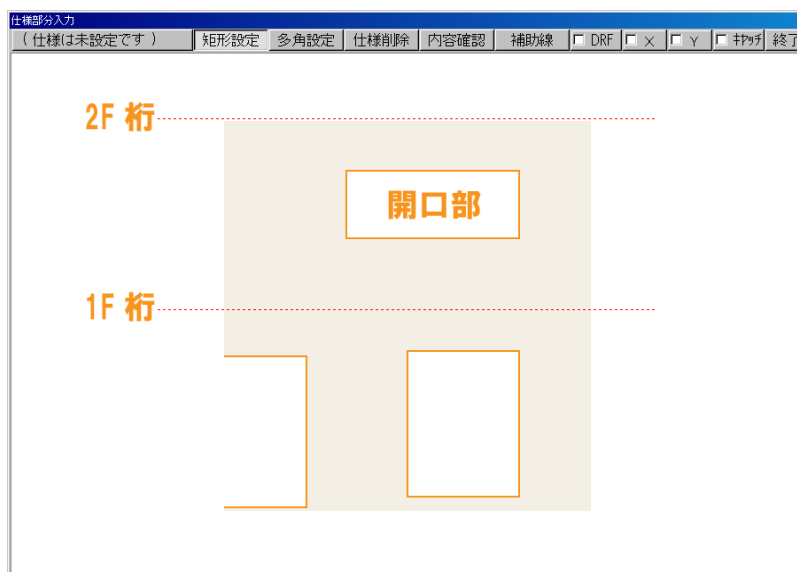
平面図の入力が終了したら、[作業項目]メニュー／[外観. 立面図] (または[パース]) を選択します。
【外観. 立面図】プログラム (または【パース】プログラム) が起動されます。

[仕様変更]メニュー／[外壁に部分仕様を指定]を選択し、仕様変更する壁面をパースウィンドウ内で指示すると、[仕様部分入力]ウィンドウが表示されます。



ウィンドウには、指示した壁面 (上図□部分) が表示されます。

※ 赤い破線 (.....) は、パースウィンドウ内でクリックした壁面の階の桁と下階の桁 (1階の壁面をクリックした場合は、基礎天) に表示されます。



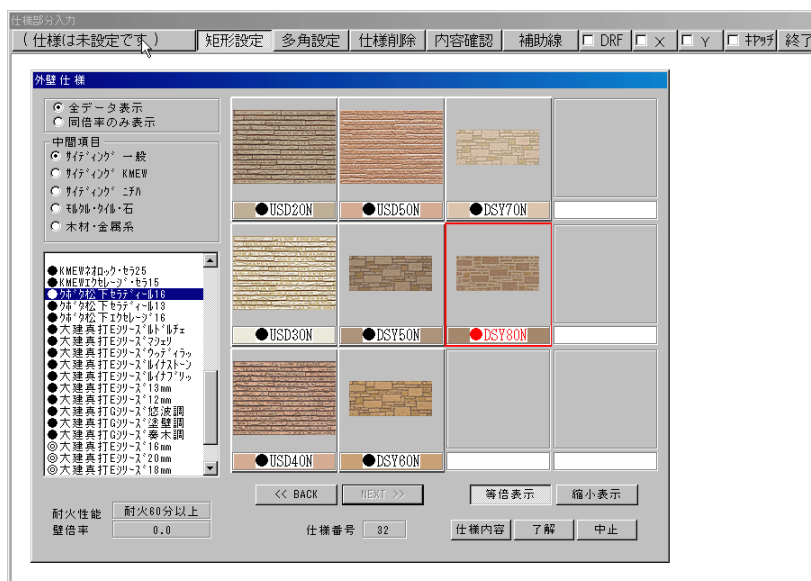
■ 01. 仕様選択と設定

外壁仕様の一部分を変更してみましょう。

設定する仕様を選択します。
〔仕様は未設定です〕ボタンをクリックします。

※ 既に仕様が選択されている場合は、選択された仕様名称が表示されます。

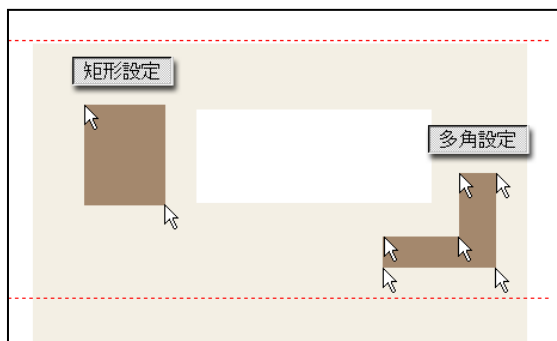
〔外壁仕様〕ダイアログから仕様を選択し、〔了解〕ボタンをクリックします。



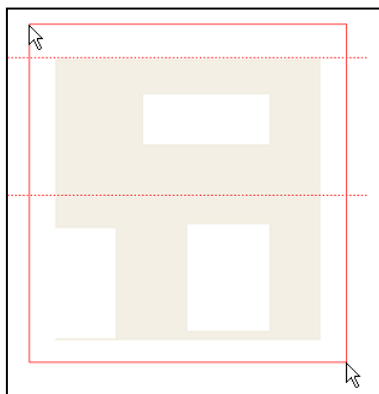
変更する部分を入力します。

変更する部分が矩形の場合は〔矩形設定〕、多角の場合は〔多角設定〕ボタンをクリックし、壁面が表示されたウィンドウ内に入力していきます。

入力した部分が選択した仕様の色に変更されます。
〔終了〕ボタンをクリックすると、〔仕様部分入力〕ウィンドウが終了され、パースに反映されます。

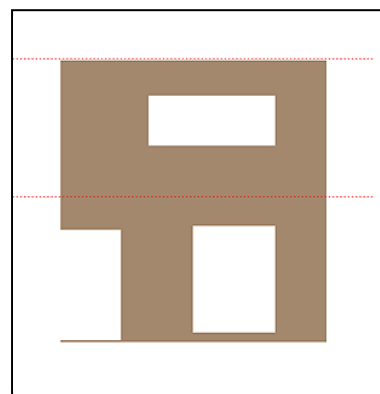


◆ 部分仕様の入力について



設定する部分を入力するときは、壁面以外の場所（開口部など）を含めて入力しても、壁面以外には設定されません。開口部を気にすることなく入力することができます。

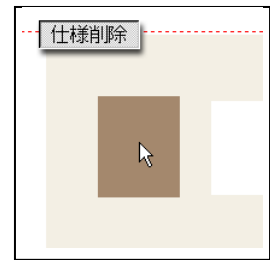
また、入力中に入力を中止するときは、マウスを**右クリック**することで中止することができます。



■ 02. 仕様削除

[仕様部分入力]ウィンドウを表示している状態で設定した仕様を削除するには、[仕様削除]ボタンを選択して、削除する仕様をクリックします。

パースウィンドウ内で設定した仕様を削除するには、[仕様変更]メニュー／[任意の部分仕様を取消]を選択して、削除する仕様をクリックします。また、設定した仕様を全て一括で削除するには、[仕様変更]メニュー／[一括で部分仕様を取消]を選択します。全ての部分仕様が削除されます。

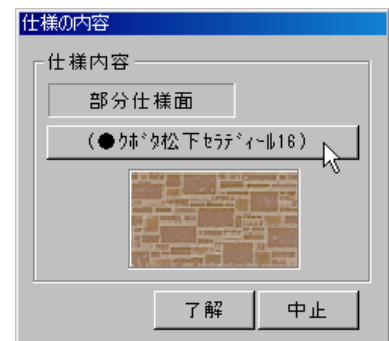
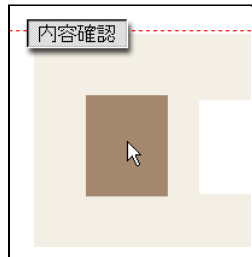


■ 03. 内容確認

設定した部分仕様の内容を確認・変更することができます。

[内容確認]ボタンを選択して、確認したい箇所をクリックします。

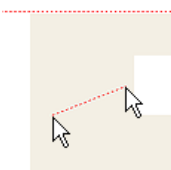
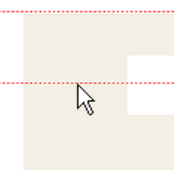
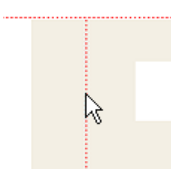
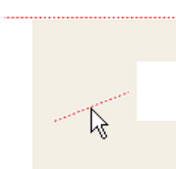
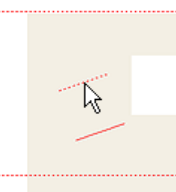
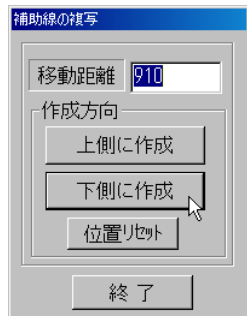
[仕様の内容]ダイアログが表示され、クリックした仕様名称とテクスチャを確認することができます。また、仕様名称をクリックすると仕様を変更することもできます。



※ 本体壁面は変更することができません。[仕様変更]メニュー／[外壁仕様の一括指定]で変更してください。

Step 2 補助線の入力

[外壁部分入力]ウィンドウに補助線を入力しましょう。
補助線を入力することにより、複雑な仕様変更も簡単にできます。

① 2点補助線の作成 始終点の2点で補助線が入力されます。 	② 水平補助線の作成 クリックした場所を通る、桁に水平な補助線が入力されます。 
③ 垂直補助線の作成 クリックした場所を通る、桁に垂直な補助線が入力されます。 	④ 補助線の削除 補助線をクリックすると補助線が削除されます。 
⑤ 補助線の複写 複写したい補助線をクリックします。 [補助線の複写]ダイアログが表示されます。 [移動距離] (間隔)を入力し、[上(右)側に作成]・[下(左)側に作成]ボタンをクリックすると、補助線が複写されます。 複写での入力終了したら、[終了]ボタンをクリックします。  	

Step 3 入力補助機能について

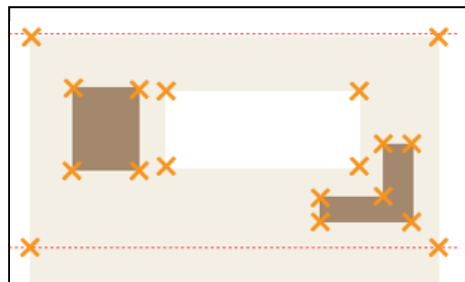
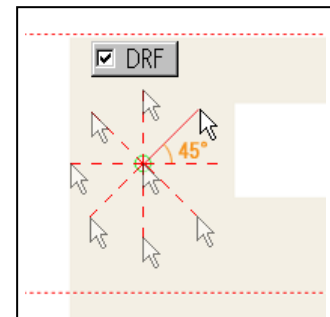
部分仕様の領域や補助線を入力するときの、入力補助機能について説明します。

■ 01. ドラフター機能

Ver4.01c から、[外壁の部分仕様に指定] コマンドに **ドラフター機能** が新たに追加されました。

ドラフター機能とは、直前の入力点から 45° 刻みの位置に入力できる機能です。

水平・垂直方向に入力したいときや、45° の斜めにカットしたいときなどに便利な機能です。



■ 02. キャッチ機能

[外壁の部分仕様に指定] コマンドでの **キャッチ機能** は、壁や開口部の角点や仕様の貼り分けの角点をキャッチします。

左図のように、**X** の箇所をキャッチします。

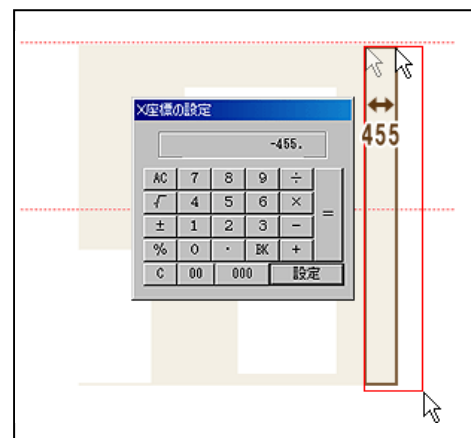
■ 03. X・Y (数値) 入力

基準位置からの距離がわかっている点に入力したいときは、**X・Y数値入力** を使うと簡単に入力ができます。

部分仕様を数値入力を使って入力してみます。

☒ **X** ・ ☒ **キャッチ** にし、壁面の右上をクリックし、壁面の右上の端をキャッチさせます。[X座標の設定] 電卓で「-455」と入力し、[設定] ボタンをクリックすると X 方向に -455mm (左側に 455mm) ずれた位置に 1 点目入力されます。

☐ **X** にし、壁面の右下の端より外側をクリックすると、壁面の右端から 455mm に仕様が設定されます。



[終了] ボタンをクリックすると、3D パースに仕様が反映されます。



次回予告 部品を作成してみよう (その①)

2005/10/18 公開予定
See You Next Time